

2010年度

科目名	社会福祉援助技術現場実習指導 I		
担当教員	船本 淑恵、神部 智司		
配当	教福2	コード	12440
開期	後期	講時	月曜日2限
		単位数	1
授業テーマ	社会福祉援助技術現場実習に向けての基礎学習と準備		
目的と概要	社会福祉援助技術現場実習の意義を理解し、実習に向けての基礎学習と各自の実習課題の明確化を図る。施設・機関・団体などに関する基礎的知識や具体的な実習内容など、現場実習に関して総合的に学習する。現場経験の豊富な教員の講義や施設見学、実習経験者の報告を聴講し、現場実習をイメージし、各自の実習に向けての課題を深める機会とする。		
成績評価法	平常点・授業時レポート:80% 期末レポート:20%		
テキスト	『社会福祉小六法2010』(出版社は指定しない)。 『国民の福祉の動向 2009年』/厚生統計協会		
参考書	随時紹介する。		
履修に当たっての注意・助言	現場実習は、理論と実践をつなぎ、人間理解を深める総合学習です。そのため、他の専門科目と関連させて実習経験を理解することが必要となります。その心構えをもって実習指導を受講してください。		
講義計画			
<p>1. 社会福祉援助技術現場実習の意義と位置づけ 現場実習の意義と学習事項の理解 実習指導日程の確認等その他必要事項の伝達</p> <p>2. 社会福祉施設の理解1 「高齢者福祉施設」 高齢者福祉施設の現状と実習内容を理解する</p> <p>3. 社会福祉施設の理解2 「障害者福祉施設」 障害者福祉施設の現状と実習内容を理解する</p> <p>4. 社会福祉施設の理解3 「児童福祉施設」 児童福祉施設の現状と実習内容を理解する</p> <p>5. 相談機関の理解 「相談機関」 福祉事務所、各種相談所の現状と実習内容を理解する</p> <p>6. 社会福祉協議会の理解 「市町村社会福祉協議会」 市町村社会福祉協議会の現状と実習内容を理解する</p> <p>7. その他の相談援助事業の理解 地域包括支援センター、医療機関等の現状と実習内容を理解する</p> <p>8. 実習先決定の手順と実習希望先の調査</p> <p>9. 社会福祉施設見学説明 施設見学における学習の視点や注意点を理解する</p> <p>10. 社会福祉施設見学1 社会福祉施設を訪問し、社会福祉現場の理解を深める。実習において求められる学習態度などを学ぶ。</p> <p>11. 社会福祉施設見学2 社会福祉施設を訪問し、社会福祉現場の理解を深める。実習において求められる学習態度などを学ぶ。</p> <p>12. 社会福祉施設の現状と課題1 社会福祉施設の基本的知識と現状、課題を理解し、実習テーマを検討する時の基礎資料とする。 施設種別に担当を決め、調べて報告する。</p> <p>13. 社会福祉施設の現状と課題2 相談機関・団体等の基本的知識と現状、課題を理解し、実習テーマを検討する時の基礎資料とする 機関等別に担当を決め、調べて、報告する。</p> <p>15. 実習報告の聴講 実習経験者の報告を聴講し、実習に向けての心構えや事前準備などを理解する。</p>			